

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月11日

上場会社名 セントケア・ホールディング株式会社

上場取引所 JQ

コード番号 2374 URL <http://www.saint-care.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 村上 美晴

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務・経理部長

(氏名) 関根 竜哉

TEL 03-3538-2943

四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	5,041	—	120	—	127	—	3	—
20年3月期第1四半期	3,930	3.2	△105	—	△101	—	△133	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	52.80	—
20年3月期第1四半期	△1,854.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	8,055	1,979	24.3	27,236.29
20年3月期	8,570	2,003	23.1	27,501.45

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 1,957百万円 20年3月期 1,976百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	400.00	400.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	9,944	—	76	—	36	—	△117	—	△1,630.24
通期	20,133	18.9	435	—	340	—	52	—	727.94

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ 定性的情報・財務諸表等 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ 定性的情報・財務諸表等 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 71,888株 20年3月期 71,888株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 2株 20年3月期 2株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 71,886株 20年3月期第1四半期 71,886株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、エネルギー・原材料価格の上昇による企業収益の圧迫や物価上昇による個人消費の弱さがみられ、景気は減速感が強まってまいりました。介護サービス業界では、各介護事業者に対して法令遵守を徹底した経営が求められるとともに、介護福祉士・看護師等有資格者の人材確保が依然として困難な状況が続くなど、厳しい経営環境となっております。

当第1四半期連結会計期間の売上高につきましては、株式会社コムスンから事業承継した14社の売上高が寄与し、50億41百万円（前年同期比28.3%増）と前年同期を大幅に上回りました。

損益面につきましては、グループホーム及びデイサービスの稼働率の向上、不採算事業所の統廃合による事業の効率化、並びに仕入・外注費率の圧縮によって売上総利益率が向上したことに加え、徹底的なコスト管理によって販売費及び一般管理費を抑制した結果、営業利益1億20百万円、経常利益1億27百万円及び四半期純利益は3百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります（セグメント間取引を含む）。

・介護サービス事業

介護サービス事業では、グループホーム及びデイサービスの集客が順調に推移し、また株式会社コムスンから承継した14社の売上が計上された結果、売上高は46億97百万円（前年同期比44.9%増）となりました。

損益面につきましては、グループホーム、デイサービス、ショートステイの施設系サービス及び訪問入浴介護サービスの稼働率向上、訪問看護サービスのお客単価の改善、並びに承継14社以外の居宅介護支援サービスにおけるケアマネジャー一人当たりのお客単価の伸びなどにより売上総利益率が向上した結果、営業利益は1億73百万円となりました。

・住宅リフォーム事業

住宅リフォーム事業は、手摺取付け、浴槽、トイレなどの小規模工事に特化し、地域ケアマネジャーへのケアリフォーム勉強会の開催並びに提案営業の実施、病院の地域医療連携室との連携並びに提案営業の実施などにより、施工件数が順調に推移いたしました。その結果、売上高は2億71百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は19百万円となりました。

・その他事業

その他事業では、調剤薬局事業を営むメディスンショップ・ジャパン株式会社において、直営店の売上の伸びと、新規フランチャイズの獲得により売上高が順調に推移したものの、前連結会計年度において連結子会社であったセントスタッフ株式会社について当社が所有していた全株式の売却により連結の範囲から除外した結果、売上高は3億3百万円（前年同期比34.6%減）、営業利益は67百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末（以下「前期末」という）より5億15百万円（前期末比6.0%）減少し、80億55百万円となりました。

流動資産は、前期末より3億18百万円（同8.0%）減少し、36億74百万円となりました。これは主に法人税等の支払等により現金及び預金が2億28百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前期末より1億97百万円（同4.3%）減少し、43億80百万円となりました。これは主に有形固定資産が29百万円減少したことやのれんが49百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、前期末より3億94百万円（同10.3%）減少し、34億19百万円となりました。これは主に未払法人税等が1億12百万円減少したことや買掛金が66百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前期末より97百万円（同3.5%）減少し、26億56百万円となりました。これは主に長期借入金が1億5百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前期末より23百万円（同1.2%）減少し、19億79百万円となりました。これは主にその他評価差額金が22百万円減少したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における業績は計画通りに推移していることから、平成20年5月22日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの事情により業績予想から変更が生じた場合には適切に開示してまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前年連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算出しております。

2 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積を考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度にかかわる減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

3 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

4 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

税引前純利益に重要な税務調整を加えた後の課税所得を基に未払法人税等を算出しております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計期間末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計期間において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

5 連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

連結会社相互間の債権と債務の相殺消去

当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

連結会社相互間の取引の相殺消去

取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2 たな卸資産について、従来、主として先入先出法による低価法や最終仕入原価法によっておりましたが、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日企業会計基準第9号)が当第1四半期連結会計期間から適用されたことに伴い、主として最終仕入原価法に基づく低価法に変更しております。

なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	882,027	1,110,629
売掛金	2,399,077	2,304,344
たな卸資産	64,712	60,532
その他	338,635	527,236
貸倒引当金	△9,608	△9,608
流動資産合計	3,674,844	3,993,135
固定資産		
有形固定資産	759,077	788,210
無形固定資産		
のれん	1,426,222	1,476,116
その他	331,151	336,338
無形固定資産合計	1,757,373	1,812,454
投資その他の資産		
差入保証金	1,208,104	1,209,866
その他	676,101	787,258
貸倒引当金	△20,296	△20,296
投資その他の資産合計	1,863,908	1,976,828
固定資産合計	4,380,359	4,577,494
資産合計	8,055,203	8,570,629
負債の部		
流動負債		
買掛金	363,207	429,523
短期借入金	870,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	460,952	474,980
未払金	1,255,857	1,321,067
未払法人税等	134,404	246,724
その他	334,871	441,143
流動負債合計	3,419,292	3,813,439
固定負債		
社債	700,000	700,000
長期借入金	1,634,446	1,739,556
退職給付引当金	253,083	239,842
役員退職慰労引当金	—	69,326
その他	68,880	5,398
固定負債合計	2,656,409	2,754,123
負債合計	6,075,702	6,567,562

(単位：千円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成20年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年 3 月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 009, 839	1, 009, 839
資本剰余金	841, 789	841, 789
利益剰余金	132, 659	128, 863
自己株式	△418	△418
株主資本合計	1, 983, 869	1, 980, 073
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△25, 960	△3, 103
評価・換算差額等合計	△25, 960	△3, 103
少数株主持分	21, 593	26, 097
純資産合計	1, 979, 501	2, 003, 066
負債純資産合計	8, 055, 203	8, 570, 629

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

売上高	5,041,619
売上原価	4,403,689
売上総利益	637,930
販売費及び一般管理費	517,752
営業利益	120,177
営業外収益	
受取利息	3,204
受取配当金	1,934
受取家賃	10,588
補助金収入	15,000
その他	5,747
営業外収益合計	36,475
営業外費用	
支払利息	20,799
その他	8,759
営業外費用合計	29,558
経常利益	127,094
特別利益	
投資有価証券売却益	4,469
その他	12
特別利益合計	4,481
特別損失	
固定資産除却損	608
特別損失合計	608
税金等調整前四半期純利益	130,966
法人税等	131,675
少数株主損失(△)	△4,503
四半期純利益	3,795

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

1 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	介護サービス 事業 (千円)	住宅 リフォーム 事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,562,163	271,971	207,484	5,041,619	—	5,041,619
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	135,753	—	96,388	232,141	(232,141)	—
計	4,697,916	271,971	303,872	5,273,761	(232,141)	5,041,619
営業利益	173,195	19,629	67,457	260,283	(140,106)	120,177

(注) 1 事業区分は、役務及び商品の種類、性質及び提供方法を考慮して区分しております。

2 各区分の主なサービス内容

- (1) 介護サービス事業……訪問介護サービス、訪問入浴介護サービス、居宅介護支援サービス、訪問看護サービス、デイサービス、グループホーム、ショートステイ、有料老人ホーム
- (2) 住宅リフォーム事業……住宅改修サービス
- (3) その他事業……人材派遣サービス、アウトソーシング受託サービス、調剤薬局、ペット及びペット用品販売、動物病院

2 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

在外子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

3 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

(1) (要約) 前第1四半期連結損益計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
	金額 (千円)
I 売上高	3,930,570
II 売上原価	3,531,783
売上総利益	398,786
III 販売費及び一般管理費	503,881
営業損失	105,095
IV 営業外収益	
1. 受取利息	901
2. 受取配当金	890
3. 受取保険金	3,217
4. 販売手数料	4,125
5. 受取助成金	2,166
6. その他	2,485
営業外収益合計	13,786
V 営業外費用	
1. 支払利息	6,193
2. 社債発行費	1,159
3. その他	3,016
営業外費用合計	10,369
経常損失	101,677
VI 特別損失	
1. 固定資産除却損	2,144
2. 契約解除損失	2,000
特別損失合計	4,144
税金等調整前四半期純損失	105,822
税金費用	26,825
少数株主利益	681
四半期純損失	133,329

(2) セグメント情報

前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	介護サービス 事業 (千円)	住宅 リフォーム 事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,241,958	258,988	429,623	3,930,570	—	3,930,570
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	34,864	34,864	(34,864)	—
計	3,241,958	258,988	464,487	3,965,434	(34,864)	3,930,570
営業利益又は営業損失 (△)	252,623	9,693	△ 8,938	253,378	(358,473)	△ 105,095